

2月号 アグリワークポイント（ミカン）

『貯蔵管理と27年度産に向けての管理』

2月になり出荷も後半を迎えます。貯蔵管理に力を入れ、最後まで高品質なみかんの出荷を心掛けましょう。また、この時期の作業は平成27年度産に向けた管理となります。園地の状態に合わせた管理を行い高品質果実の安定生産に繋げましょう。

《貯蔵管理》

温州みかんの最適貯蔵環境は庫内温度5～8℃で、湿度は85%です。2月は果実の点検を2週間に一度行いましょう。

《剪定・間伐》

剪定に入る前に、密植園は作業性の悪化や隔年結果、品質低下等につながりますので間伐や縮伐を行ってください。

平成27年度産は表年が予想されます。落葉が少なく、花が多いと思われる木については、早めの剪定を行い、花芽と葉芽のバランスの良い木作りを目指しましょう。また、主枝と競合している立ち枝や逆行枝を元から間引き、古くなった側枝の更新をしてください。

《土づくり》

土づくりの目的は健全な根（細根）を増やすことで施肥の吸収効率を高め、その結果として枝・葉が充実し高品質果実の安定生産に繋がります。まずは、園地ごとに土壌分析を行い、園地の状況を把握しましょう。

有機物を投入することで土壌がやわらかくなり、通気性・保水性が向上し、新根が発生しやすい環境となります。また、みかん栽培に適した土壌pHは5.5～6.5とされています。

- ・キノックス 2,000 kg/10a
- ・苦土セルカ2号 160 kg/10a